LSI メディエンス、APG アジア準訳と感染症 mNGS 技術の臨床研究における連携・協力に関する基本合意書を締結

～「APGseq™」の日本での研究・臨床応用に向けた取り組みを推進～

【日本・台湾、2026 年 11 月 27 日】
PHC ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区 東証プライム：6523）傘下の株式会社 LSI メディエンス（LSI Medience Corporation、本社：東京都板橋区 代表取締役社長 内野 健一、以下「LSI メディエンス」）、亞洲準譯股份有限公司（Asia Pathogenomics Co., Ltd.、本社：台湾 新北市 代表取締役社長 劉 君豪、以下「APG Taiwan」）及び同社の日本子会社である APG アジア準訳ジャパン株式会社（Asia Pathogenomics Japan Co., Ltd.、本社：東京都中央区 代表取締役社長 劉 君豪、以下「APG Japan」）はメタゲノム次世代シークエンシング（Metagenomic Next-Generation Sequencing：以下「mNGS」）技術「APGseq™」を活用した臨床研究及び先進医療制度を通じて日本の公的医療保険の適用における連携・協力に関する基本合意書（MOU）を締結いたしました。

感染症の臨床診断では、病原体の多様性や従来の培養検査に要する時間などが課題となっています。特に重症例や原因不明の感染症では、診断や治療方針の検討に必要な病原体情報をいかに迅速に得ることが重要です。

APG Taiwan は、感染症 mNGS 技術の研究開発と臨床応用に継続して取り組んできました。同社の検査技術「APGseq™」は、感染症に特化した解析技術であり、次世代シーケンシングとバイオインフォマティクス解析を組み合わせ、臨床検体に含まれる病原体由来核酸を網羅的に解析し、感染の原因となり得る病原体の特定を支援する検査技術です。これにより、医療従事者に包括的な検査情報を提供し、感染症の診断や治療方針の検討に活用されることが期待されます。

LSI メディエンスは、日本全国を網羅する検査サービスネットワークと総合検査ラボラトリーを有し、微生物学、遺伝子関連検査、病理学をはじめとする幅広い専門的な臨床検査分野で 4,000 項目以上の検査を提供し、大規模な検査業務の運営、厳格な品質管理、及び先進的な検査技術の導入に関する経験を蓄積してきました。

本提携では、APG Taiwan が独自に開発した感染症分野における mNGS 検査技術「APGseq™」に関する技術及び専門的支援を提供し、APG Japan が、日本国内における関係機関との連携や事業展開を推進します。LSI メディエンスは、全国的に展開する検査サービスネットワークや大規模ラボラトリーの運営、及び厳格な品質管理に関する知見を活かし、日本の医療環境や臨床ニーズに即した国内検査体制の構築に取り組みます。

3 社は、日本国内における感染症 mNGS 技術の臨床応用に向け、臨床的検証や技術導入、国内の医療制度との整合に関する検討を段階的に進めていきます。また、先進医療制度などの活用も視野に、臨床応用に必要なエビデンスの蓄積に取り組むとともに、臨床研究や技術交流を通じて日台双方の知見を共有し、日本の医療環境と臨床ニーズに即した検査体制の構築を目指します。

LSI メディエンスの代表取締役社長の内野 健一は次のように述べています。
「この度、感染症メタゲノム解析サービスをリードする APG Taiwan 及び APG Japan との基本合意書を締結できたことを大変嬉しく思います。感染症診療の現場では、重症感染症や原因不明感染症に対して、迅速かつ的確な病原体同定がますます重要となっている一方で、未だ従来の検査手法だけでは診断に時間を要するケースも少なくありません。APG Taiwan が開発した感染症分野における mNGS 技術「APGseq™」は、迅速に特定を可能にする革新的な技術であり、日本の感染症診断のさらなる発展に貢献できる可能性を有していると考えています。当社は長年にわたり培ってきた臨床検査事業の経験、品質管理体制、日本全国に展開する検査ネットワークを活かし、本技術の臨床研究及び日本における実装に向けて積極的に取り組んでいます。本提携を通じて、感染症診療に携わる医療従事者の皆さんに新たな検査ソリューションを提供し、患者さん一人ひとりに適切な診断・治療機会を届けることで、日本の医療の発展に貢献してまいります。」

APG Taiwan の代表取締役社長 劉 君豪は次のように述べています。
「この度、日本の臨床検査業界を力強く牽引する LSI メディエンスと基本合意書を締結できたことを、大変光栄に思います。当社は、アジアにおいて感染症メタゲノム解析（mNGS）のパイオニアとして、独自開発の「APGseq™」を通じて、台湾の主要な医療機関とともに数多くの重症感染症や原因不明症例の早期診断を切り拓いてまいりました。次世代シーケンシングと独自のインテリジェント病原体解析システム「APGPAS™」を統合した「APGseq™」は、数万種規模の病原体を一度の検査で迅速・網羅的に同定できる極めて強力な診断プラットフォームです。世界トップクラスの品質基準を誇る日本の医療現場において、当社の最先端技術を届けるにあたり、確固たる検査基盤と品質管理体制を持つ LSI メディエンスは最高のパートナーです。APG Japan とともに、台湾で実証された高度な解析技術と臨床知見を惜しみなく注ぎ込み、日本の感染症診療に新たなブレイクスルーをもたらすとともに、一人でも多くの患者さんの命を救う医療の実現に全力を尽くしてまいります。」

株式会社 LSI メディエンス（LSI Medience Corporation）について
株式会社 LSI メディエンスは、グローバルに展開する日本発のヘルスケア企業である PHC ホールディングス株式会社（証券コード 6523 東証プライム）の事業会社で、1975 年に設立され、「臨床検査事業」を主要事業として、多様な検査領域で長きにわたり培ってきた分析力をコアに、検査結果の解析力を加え、新しいソリューションの創出を目指しています。病気の予防・早期発見、治療に貢献し、個別化医療などの次世代医療を支える取り組みも積極的に行っております。
www.medience.co.jp/

PHC ホールディングス株式会社（PHC グループ）について
PHC ホールディングス株式会社（証券コード 6523 東証プライム）は、健康を願うすべての人々に新たな価値を創造し、豊かな社会づくりに貢献することを経営理念に掲げるグローバルヘルスケア企業です。傘下に PHC 株式会社やアセンシアダイベティスケアホールディングス、エプレディアホールディングス、株式会社 LSI メディエンス、ウィーメックス株式会社、メディフォード株式会社などを置き、糖尿病マネジメント、ヘルスケアソリューション、診断・ライフサイエンスの事業領域において、開発、製造、販売、サービスを行っています。2025 年度のグループ連結売上収益は 3,644 億円、世界 125 以上の国と地域のお客様に製品・サービスをお使いいただいています。PHC グループは PHC ホールディングス株式会社とその事業会社の総称です。
www.phchd.com/jp

亞洲準譯股份有限公司（Asia Pathogenomics）について

亞洲準譯股份有限公司は、台湾で設立され、感染症分野のメタゲノム次世代シーケンシング（mNGS）技術の研究開発と臨床応用に注力しています。
同社が開発した感染症検査技術「APGseq™」は、次世代シーケンシングとインテリジェント病原体解析システム「APGPAS™」を組み合わせ、臨床医療チームによる感染症の原因病原体の同定を支援し、感染症の精密診断の普及と発展に取り組んでいます。
www.asiapathogenomics.com/tw

APG アジア準訳ジャパン株式会社（Asia Pathogenomics Japan）について

APG Japan は、亞洲準譯が日本に設立した子会社であり、APG の感染症 mNGS 技術の日本市場への導入と臨床応用に取り組んでいます。
日本の医療環境及び法規制を踏まえ、臨床分野での連携、薬事申請、及び関連事業の展開を推進し、革新的な感染症検査技術を日本の医療体制につなげる役割を担っています。
www.asiapathogenomics.co.jp/

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 LSI メディエンス
総務部　総務グループ　広報担当
E-mail: NPA-LSIM-PR@nm.medience.co.jp
TEL：03-5994-2126

<IR 報道関係窓口>
PHC ホールディングス株式会社　IR・広報部
E-mail: phc-pr@gg.phchd.com
TEL：03-6778-5311

亞洲準譯股份有限公司
報道関係者向けお問い合わせ
E-mail: APG_pr@asiapathogenomics.com
TEL：+886-2-26976297

APG アジア準訳ジャパン株式会社
報道関係者向けお問い合わせ
E-mail: apg_japan@asiapathogenomics.com
TEL：03-5542-1096